

火山工学研究小委員会 第9期 H28～H30年度 委員公募について

雲仙普賢岳の噴火災害を契機に土木学会地盤工学委員会に設置された本小委員会は、土木工学、砂防学、火山学、災害情報学など学際的な視点から社会に貢献する「火山工学」の確立を目指して活動を続けています。

平成28年度から第9期の活動を始めるにあたり、委員を公募します。

任期は平成28年6月から平成30年5月まで 3年間

おもな研究活動計画

- 噴火災害、火山地域の土砂災害等の事例調査・研究
過去に雲仙普賢岳、桜島、有珠山、三宅島、霧島新燃岳、阿蘇山、伊豆大島、メラピ、ピナツボ等の調査を実施した。
- 火山地域の土砂移動メカニズムの調査・研究
火山泥流の発生メカニズム、火山地域の崩壊・土石流発達メカニズムなど
- 火山地域の土砂災害に対する工学的対応
土砂災害に対する新工法、噴石シェルター構造、建造物に対する降灰の影響など
- 火山災害の社会的アプローチ
災害情報、防災計画、ハザードマップの表現・周知など
- 火山の恵みと利用
風評被害を回避する火山リゾートのあり方、火山噴出物の有効利用など
- 溶岩流・土石流・火山泥流のダイナミクスと被害予測
実測例の調査と数値モデルによる実験の可能性

本小委員会での活動を希望される方は、自薦・他薦を問わず、以下の内容を記載の上、メールで申し込んでください。

1. 氏名（ふりがな）
2. 所属機関・部署
3. 所属先住所・電話・Fax・e-mail
4. 専門分野
5. 火山工学研究小委員会を実施してみたいこと（任意）

申し込み先 : h.imai@suncoh.co.jp (今井 博)

nishi_t@shimz.co.jp (西 琢郎)

shin-yamashita@ctie.co.jp (山下伸太郎)

応募者の確認と誤認防止のため、上記3名宛に同時発信してください。

締め切り : 平成27年5月31日まで